

巻 末 資 料

- 1 こどもの声を聴くワークショップ実施結果報告書……………68
- 2 明石こどもセンター 一時保護所 こどもの意見を聴く会実施結果報告書…………77
- 3 アンケート調査実施結果……………82

こどもの声を聴くワークショップ実施結果報告書

実施日：2024年（令和6年）10月27日（日）9：30～12：00

実施場所：明石こどもセンター大会議室

実施対象：明石市内の児童養護施設に入所中の児童等

対象年代：小学校6年生～高校3年生・社会人

参加人数：9名

進行役：明石市市民とつながる課職員2名

社会的養護経験者 門脇大氏

神戸女子短期大学教授 畠山由佳子氏

事務局：明石こどもセンター

1 ワークショップの実施方法

今の生活や将来について「いまの暮らし、これからの暮らし」と題し、ワールドカフェ方式（※）でワークショップを実施しました。ファシリテーションの専門職である市民とつながる課職員と、社会的養護に見識の深い有識者及び社会的養護経験者を中心に進行しました。

会場内は椅子・テーブルを撤去し、床にレジャーシートを敷き、座布団を配置して会議室の無機質さを和らげる工夫をしました。また、カフェコーナーを設け、自由に食べられるお菓子や飲料を用意し、ワークショップ冒頭にはアイスブレイクの時間を設けるなど、こどもにとって意見の出しやすい進行や雰囲気作りに留意しました。

また、事前に児童養護施設から参加児童につき、配慮事項を確認するとともに、当日は、明石こどもセンターの保健師も参加し、休憩室を設けるなど、参加児童に心身の不調が生じた場合の対策等も十分に行った上で実施しました。

※ ワールドカフェ方式…カフェのようなりラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたグループで自由な対話を行い、他のグループとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加者全員の意見や知識を共有する対話手法の一つ。

2 ワークショップの実施結果

実施当日は、全体的に和やかな雰囲気で行進し、特に不調を訴える児童もいませんでした。参加児童から積極的な発言もあり、こどもの率直な声を聴くよい機会になりました。

こどもたちから寄せられた主な意見の概要を、項目ごとに分類して記載します。

① 現状の暮らしの良いこと悪いこと、その改善点について

- ・門限が早い。
- ・ホームごとのルールを揃えてほしい。
- ・スマートフォンやタブレットの制限が厳しい。勉強に使うこともあるのに。
- ・友達の家泊まりに行きたい。相手の保護者の許可も得ているのに。
- ・小遣いが少ない。高校生は15,000円にしてほしい。
- ・好みの服を選んで買うことができる。
- ・服にかけられるお金が少ない。シーズン5,000円では足りない。
- ・食事がおいしい。肉料理は特においしい。好きなメニューがよく出る。
- ・甘い味付けの料理が多い。献立の工夫をしてほしい。
- ・趣味やスポーツなど（習い事）が出来る。

② こんなサポート、サービスがほしい

- ・アルバイトの許可を得るのを、市にサポートしてほしい。
- ・退所後支援金がほしい。
- ・小遣いの管理が自分ではできない。
- ・就職したら（または施設から出たら）放っておいてほしい。

③ みんなの思いを聴かせて（こどもの権利擁護について）

- ・同じ経験をした人（おとな）に話を聞いてほしい。
- ・同じように施設で生活している子と話をしてみたい。
- ・「後で話を聞くよ」と言ってくれるが、そのまま忘れていることも…。
- ・友達が習い事の道中によく話を聞いてくれる。

④ 感想

- ・普段言えないことが言えて良かった。楽しかった。
- ・できれば、みんなからの共感が多かった意見は改善してほしい。
- ・同じ経験をしてきた子と話して、少しでも不安を和らげてリラックスしたい。
- ・この話し合いが役に立つといいなと思う。

3 ワークショップのフィードバック

令和7年2月19日に、市内児童養護施設において、ワークショップのフィードバックを実施しました。ワークショップに参加した児童のうち7名が参加し、明石こどもセンター及び明石市市民とつながる課職員から、ワークショップで出た意見をどのように明石市社会的養育推進計画に活かしていくかなどについて説明をしました。

4 進行役からのメッセージ

今回のワークショップでは、同じ施設の子どもたちが参加者だったことで、既存の人間関係を基盤に率直な意見を言い合える場となりました。開催側の工夫として、ワールドカフェ方式を採用したことにより、リラックスした雰囲気の中で活発な意見交換が行われました。

個人的に印象に残った意見として、「施設出身を理由に明示しても学校がアルバイトを許可してくれない」というものがありました。これは一個人の不平不満にとどまらない具体的な課題であり、私たちは真摯に受け止めて改善に向けて行動していく必要があると感じました。また、「同じ経験（虐待や施設出身という背景）をした人でないと話せないことがある」という発言から、単に第三者に意見を話す機会を設けるだけでは、本質的な意見の聴取は難しいということも分かりました。一方で、「〇〇先生は最高！」という意見に多くの子どもたちが賛同していた点から、衣食住の安全確保だけでなく、身近に信頼できる人がいることの重要性が浮き彫りとなり、そのような人材を社会で育成していく仕組みの必要性を感じました。

フィードバックについては、意見を聞くだけでなく、その後の具体的な行動を示すことが重要です。例えば、「この意見は〇〇部署に報告しており、△△の方向で検討している」といった形で、意見の取り扱い状況を明確に伝えることが必要です。今後は、このような質の高いワークショップを定期的に行う体制を整えていくことを期待します。「明石ではこんなことをやっている！」と、他の自治体のモデルケースとなるような特色ある取り組みに発展することを願っています。

社会的養護経験者 門脇 大

子どもの権利条約において、日本では「こどもの意見」と訳されている言葉は原文ではこどもの「view」です。英語の view とは窓から見える景色のようなもので、自分にかかわる様々な物事が 1 人ひとりの心にどのように映っているのかを意味しています。それは意見のようにしっかりと形になっていないかもしれません。またその時々で変化するのも当たり前です。まだ言葉で表せないぐちゃぐちゃな気持ちも、大人から見れば「わがまま」に見えるような思いも、子どもならではの偏った解釈もすべて「view」です。こどもがそれらすべてを表現することの権利、そして実現可能かどうかに関係なく、大人に重きを置いて受け止められる権利こそが子どもの権利条約の第 12 条の内容です。もちろん、表現することは無理強いされるのではなく、表現をしないという権利も同じように尊重されるべきです。

今回の取り組みは、明石市内の児童養護施設で生活しているみんなから、日ごろの生活や将来のことをどんな風に感じているのかを教えてもらうために、こどもセンターをはじめとしたいろんな立場の大人たちが知恵を絞って企画した初めての試みでした。あの場にいたみんなもまだまだ言い足りないことや言えなかったことがあっただろうし、あの場にいなかった人達の思いは聴くことができませんでした。だからこれはこの後まだまだ続く試みの始めの第1歩です。

将来のバトンを受け継ぐ子どもたちにとって最も良いことを考えるのは、周りの大人の責任、そして、特にこどものために仕事する立場の大人にとっては最も大きな使命です。だからこそみんなの時間をもらって、みんなが日頃の生活をどう思っているのか、少し先の将来をどう感じているのかを赤裸々に教えてもらうことは、あの日集まった大人にとってはとても貴重なことでした。

大人の事情で「できません」というのは結局、こどもにとっては大人の「わがまま」でしかありません。みんなだって「こんなこと言っても無理やろな」と思いながらも、話してくれたこともたくさんあったと思います。だからこそ、これから私たち大人はちゃんとこどものみんなに向き合って、色々な大人の事情もできる限りみんなにわかってもらえるように説明して、より良くできることは何かをこどものみんなと一緒に考えていかななくてはなりません。「言ってもしょうがないから」とみんなが自分たちの思いを周りの大人に伝えることをあきらめてしまうことがないように、これからもしっかりみんなの声を聴かせてもらえるような様々な試みを、工夫を凝らしながら続けていき、そこで出たみんなの view をしっかり受け止めていこうと思っています。そんな明石市の試みに私も大人の一人として、これからも関わり続けられたらと願っています。

神戸女子短期大学教授 島山 由佳子

写真1：会場の様子（設営中）



写真2：カフェコーナー



写真3：グラフィックレコード

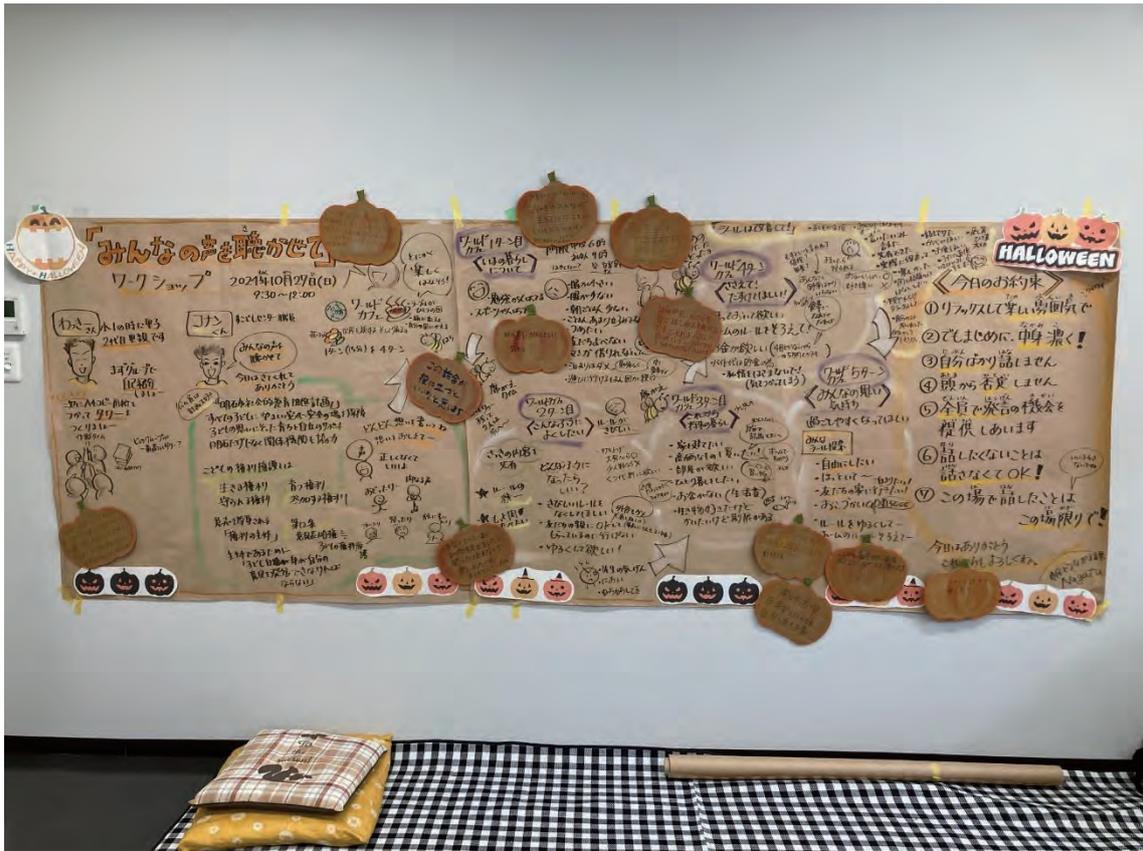


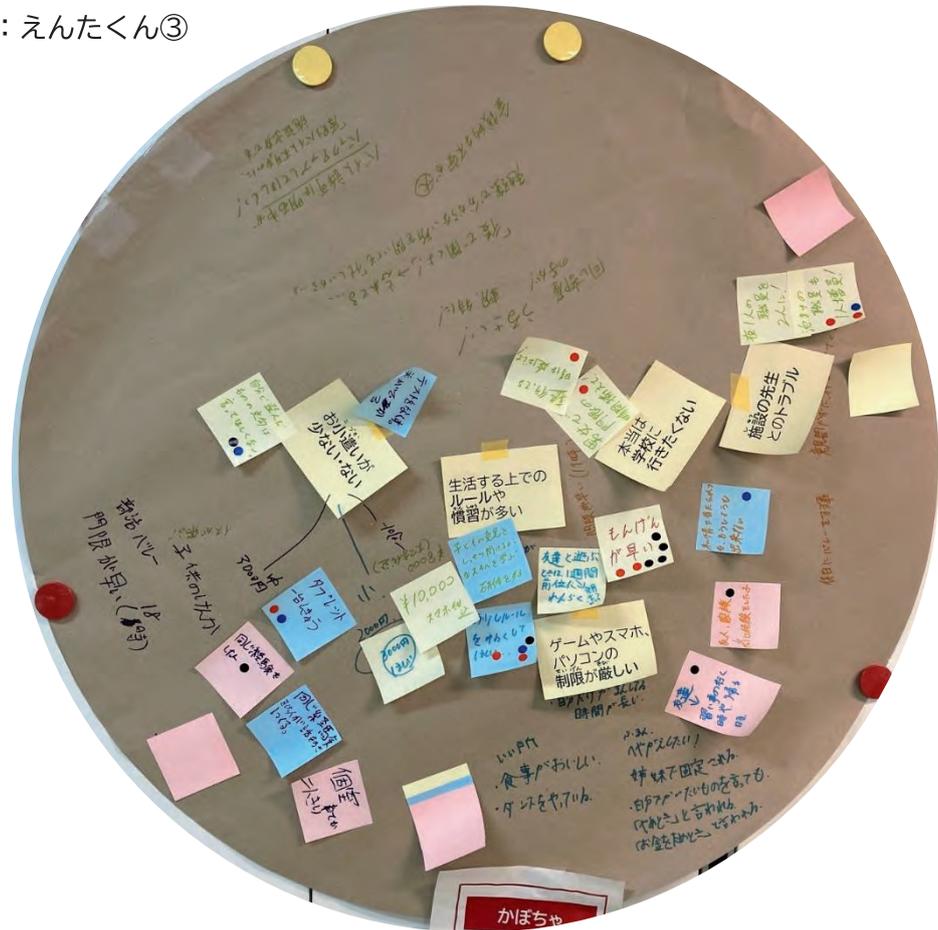
写真4：えんたくん①



写真5：えんたくん②



写真6：えんたくん③



こどもの声を聴くワークショップ えんたくん・付箋の声

	シール投票		かぼちゃ	ゴースト	こうもり
良こくん(黄い)	・門限が早い(6) ・お小遣い15000円欲しい(4) ・ルールが厳しい(4) ・泊りの職員も一人増員(3) ・自分の選んだものは文句言ってほしくない(2) ・門限を塾いているときは延ばして(1) ・男女で門限の時間を揃えて(1) ・22時から23時ぐらい(1) ・中学生:せめて6時から8時にしてほしい(1) ・服のお金が少ない、1シーズン5000円、少ないあげて(1) ・友だちの家に泊まりに行きたい(相手がOKといっているのに)(1) ・ルールをゆるい方に統一してほしい(1) ・クラスの打ち上げとかは行かせて(1)	門限	門限が早い(6)	22時から23時ぐらいがいい(1)	
			門限を塾いているときは延ばして(1)	中学生:せめて6時から8時にしてほしい(1)	
			男女で門限の時間を揃えて(1)		
		お金	自分の選んだものは文句言ってほしくない(2)	お小遣い15000円欲しい(4)	服のお金が少ない、1シーズン5000円、少ないあげて(1)
			3000円欲しい	好みの服を着ることができる	靴代は別に欲しい
			10000円スマホ代こみ	小遣いがすくない、ない	好みの服を着ることができる
			小遣いがすくない、ない		
		職員	泊りの職員も一人増員(3)	施設の先生とのトラブル	施設の先生とのトラブル
			夜、一人の職員を二人に		職員は長くてほしい
			施設の先生とのトラブル		
		食事		食事がおいしくない	食事がおいしい
				シタケとキャベツがいらぬ	もっと肉が食べたい
				甘すぎる味付け	外食にもっと行きたい
				食事がおいしい	味付けを工夫して、甘いが多い
		ルール	友だちと遊ぶときは1週間前に連絡	ルールが厳しい(4)	友だちの家に泊まりに行きたい、相手がOKといっているのに(1)
			生活する上でのルール慣習が多い	趣味などスポーツなど好きなことができる	ルールをゆるい方に統一してほしい(1)
	本当は学校に行きたくない	毎日学校に通うことができる	クラスの打ち上げとかは行かせて(1)		
	ゲームやスマホ、パソコンの制限が厳しい	ベッドが欲しい	ルールはゆるいホームに合わせて		
		生活する上でのルール慣習が多い	ゲームやスマホ、パソコンが自由に使うことができる		
			友だちの家に遊びに行くことができる		
			ゲームを、ずっとやりすぎないならルールを無くしてほしい		
			勉強するならタブレットかスマホは許してほしい		
助けさせてさ(青い)!	・友だちの家に泊まりに行かせてほしい(9) ・お小遣いを15000円にして欲しい(9) ・施設を出てからは好きにしてほしい(4) ・もう少しルールをゆるくしてほしい(4) ・ほっといてほしい(就職したら)(2) ・ホームのルールをそろえてほしい(2) ・タブレット1台支給(2) ・テニスの大きな壁(壁打ちよう)(1) ・私情であたられてもどうしようもない(1)	お金	タブレット1台支給(2)	お小遣いを15000円にして欲しい(9)	バイトがしたい
				テニスの大きな壁(壁打ちよう)(1)	高校生にバイトをさせてあげて欲しい
					退所後支援金が欲しい
					買いたいものを買いたいだけ買わせてほしい
		ルール	もう少しルールをゆるくしてほしい(4)	友だちの家に泊まりに行かせてほしい(9)	ほっといてほしい(就職したら)(4)
				施設を出てからは好きにしてほしい(4)	ホームのルールをそろえてほしい(4)
					献立を工夫してほしい(特にキャベツ)
人	私情であたられてもどうしようもない(1)	同じ経験をした人が話を聞きに来る	私情で機嫌悪くしないでほしい		
勉強	タブレット1台支給(2)	同じ経験をした人が話を聞きに来る	こどもと施設職員とセンター職員で話し合う		
その他	テニスの大きな壁(壁打ちよう)(1)	テストをなくす、差が出るから			
	私情であたられてもどうしようもない(1)	こどもの意見をしっかりと聞けるようなスキルをまなぶ、研修			
気み持んな(ピンク)	・〇〇〇〇先生は友達(8) ・同じ経験をした人(1) ・友だち→習い事に行く時や帰る時(1) ・友人、家族、同じ経験をした子(1)	人	同じ経験をした人(1)	〇〇〇〇先生は友達(8)	職員も子供も過ごしやすくなったらいいなと思います
			友だち→習い事に行く時や帰る時(1)	担当の先生・友達	思っていることを共有できてよかった
			友人、家族、同じ経験をした子(1)		より良い暮らしになるための案や意見が出た
		物	個室、車とか、二人きり		この話し合いが日常に反映されるといいと思います

明石こどもセンター 一時保護所 こどもの意見を聴く会実施結果報告書

実施日：2024年(令和6年)11月19日(火) 17:00～18:00

実施場所：明石こどもセンター 一時保護所フリールーム

実施対象：5歳～中学校1年生

参加人数：8名

進行役：神戸女子短期大学教授 畠山 由佳子 氏

Giving Tree ピアカウンセラー 畑山 麗衣 氏(社会的養護経験者)

事務局：明石こどもセンター

1 こどもの声を聴く会の実施目的

明石こどもセンターの一時保護所で生活をしているこどもたちに、日常生活や自分の家族、将来のことに対して、満足していることや不満に思うこと、また不安に思っていること等を聴き取り、明石市社会的養育推進計画や(仮称)明石市一時保護施設の整備及び運営に関する基準を定める条例を作成していくあたり、こどもから聞いた声をそれらの検討に反映させることを目的として実施しました。

2 実施方法

実際に生活をしている一時保護所のフリースペースにおいて、社会的養護に見識の深い有識者及び社会的養護経験者を中心に進行しました。

フリースペースは畳敷きで、できる限りリラックスできる雰囲気づくりに努めました。その中で、畳の上に模造紙を置き、こどもたちが意見を言いやすいきっかけとなるような単語等を描いたイラストを設置しました。こどもたちは、イラストを参考にしながら、自らの意見を模造紙に直接書く、付箋に書いたものを貼ることで表現してもらいました。また、字が書けない小さいこどもたちの声は進行役等がしっかりと聴き取るよう心がけました。

3 ワークショップで聴き取ったこどもたちの声

【ごはん】

- ・おいしい
- ・ちょっと苦手もあるけどおいしい
- ・おなかいっぱい食べられる

【ねること】

- ・よく寝れる

【日課・遊び】

- ・TIKTOK したい
- ・ボードゲームを増やして欲しい
- ・ボールがぼろい→使いやすいけど
- ・本の種類を増やして欲しい
- ・卓球のラケットがとても使いづらい
- ・外の公園に行きたい
- ・ギターが弾けるようになった
- ・予算がない
- ・本がたくさんある
- ・卓球台がある
- ・平日に外に出たい
- ・アイロンビーズ

【学習や通学】

- ・学校は楽しいです。でも学校の男子がうざい。
- ・難しくして欲しい

【大切なもの】

- ・以前生活していたところの景色をまたみたい
- ・筆箱
- ・部屋で絵をかきたい！

【きもちや思いを聴いてくれる人がいる】

- ・伝えたところで・・・
- ・叶わんやん・・・
- ・これからどうなるのかな・・・

【服について】

- ・替えて欲しいな
- ・イヤだな
- ・不安
- ・良いな！

【プライバシー】

- ・退所して欲しい人がいる
- ・知らない子と一緒にでも楽しい
- ・実はみんながうるさい
- ・学校の方がうるさいです

写真1：こどもの声を聴く会タイトル

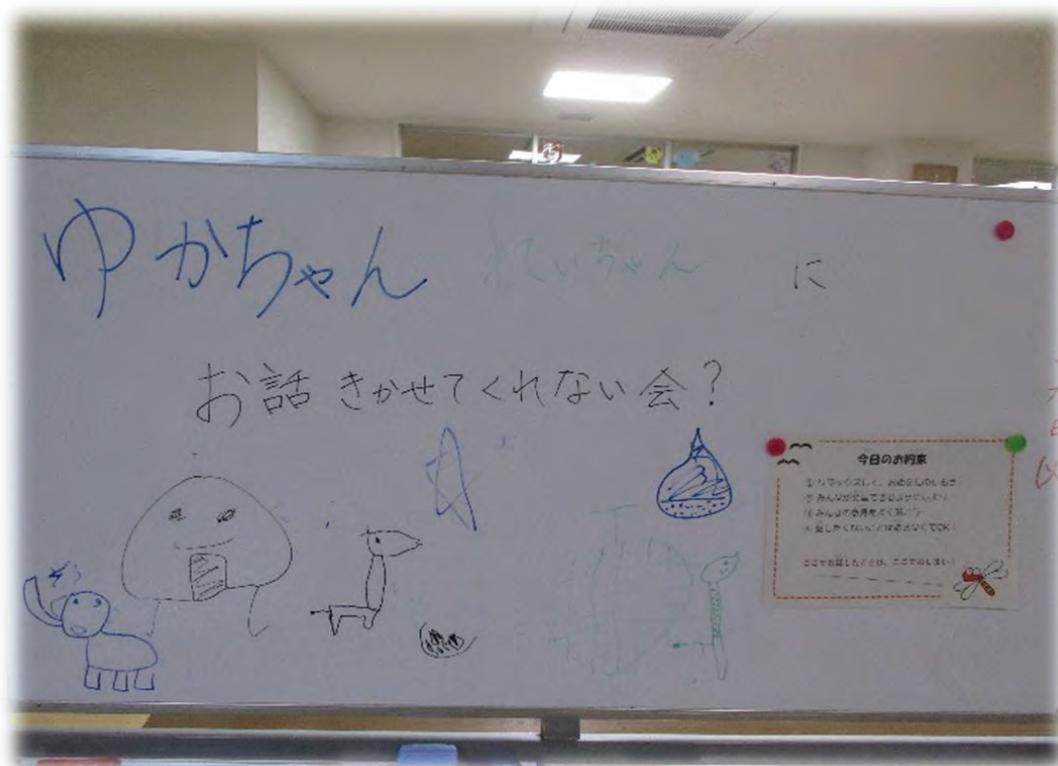


写真2：今日のお約束

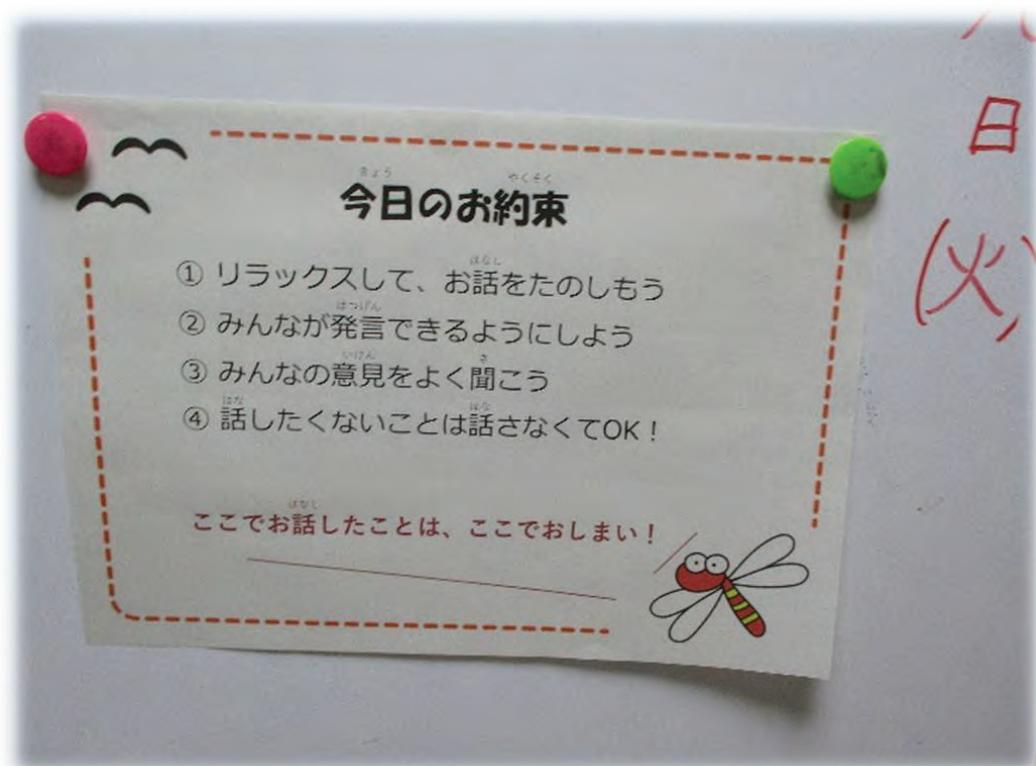


写真3：模造紙に描くために準備したもの



写真4：こどもたちが描いた模造紙①



写真5：こどもたちが描いた模造紙②



写真6：こどもたちが描いた模造紙③



アンケート調査実施結果

【実施期間】

2024年10月～12月

【調査対象】

- ①明石市が里親・児童養護施設に措置している小学生以上の児童
- ②明石市内児童養護施設に措置されている小学6年生以上で
10/27（日）「こどもの声を聴くワークショップ」参加児童

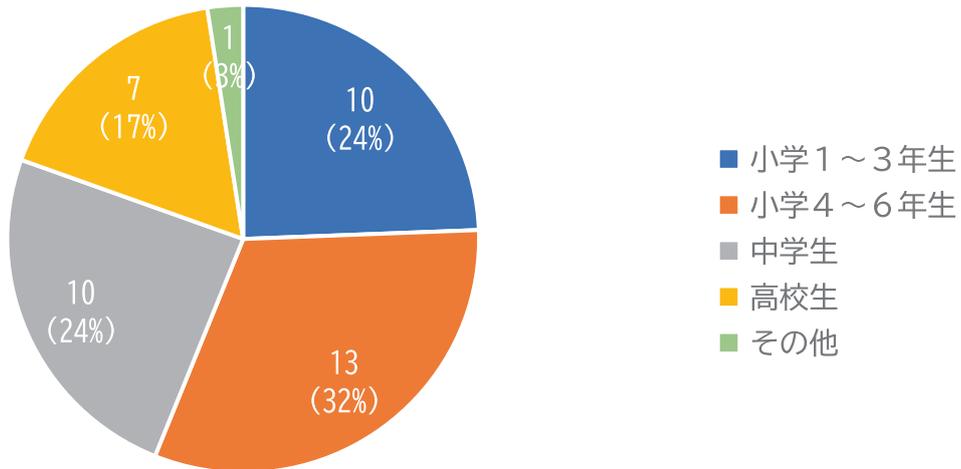
【調査対象数】

55名

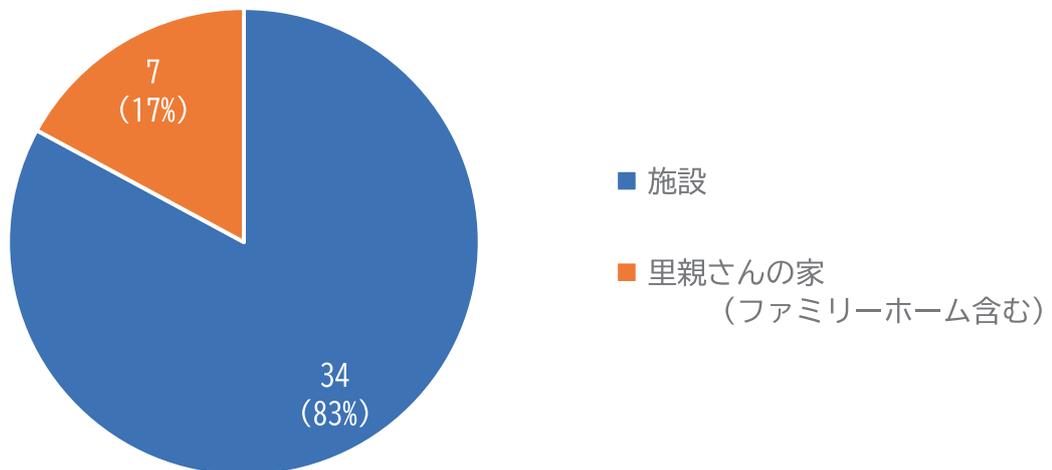
【回答数】

41件（74.5%）

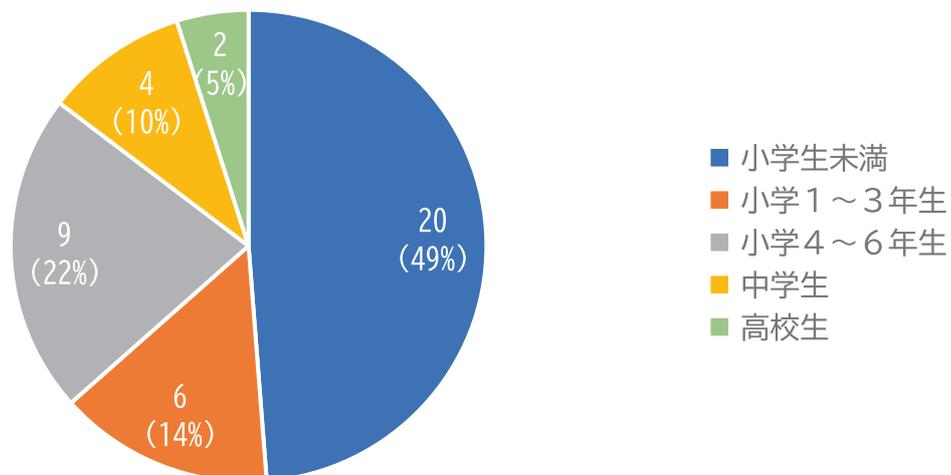
①-(1) あなたの年齢を教えてください。〔回答数：41〕



今、暮らしている場所を教えてください。



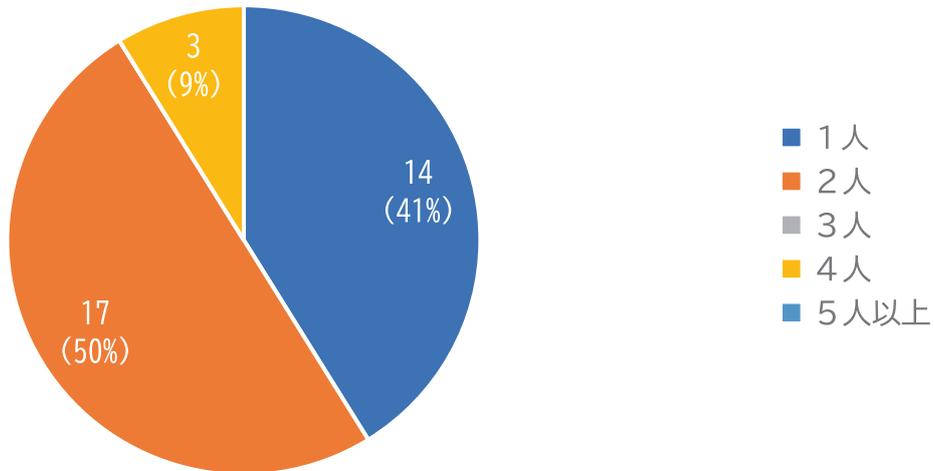
②-(1) 何歳の頃から今の場所で生活していますか？〔回答数：41〕



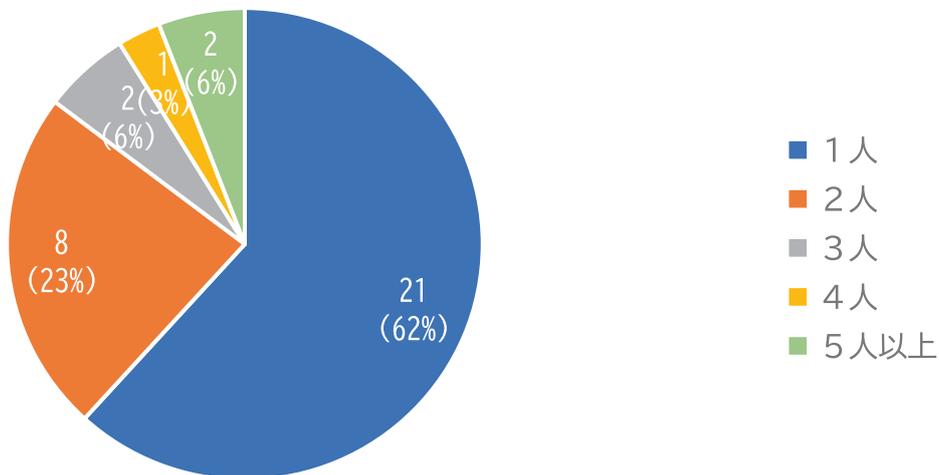
②-② 今、暮らしているのは何人部屋ですか？あなたは何人部屋を希望しますか？（施設措置児童）

[今の人数]

[回答数：34]



[希望の人数]



[なぜその人数を希望しますか？] ※○囲みの数字は同様の回答者数

わからへんけど、2人がいい。②/みんながみんなよこでたのしくいられるから④

4人はうるさい②/一人でおちつきたいときだれかいたらいやです①

単独行動を好むからです①/静かだから

一人の方が、雑音がなく、何も気にしないですごせるため。①

静か、勉強に集中できる①/1人で自由にすごしたいから。①

1人がいいから①/1人で暮ごしたい時と、誰かいて欲しい時もあるから。①

ひまな時にしゃべれるから②/2人でねるほうがさびしくないから②

けんかしないから①/じゆうにできるから①/しずかになれるから。①

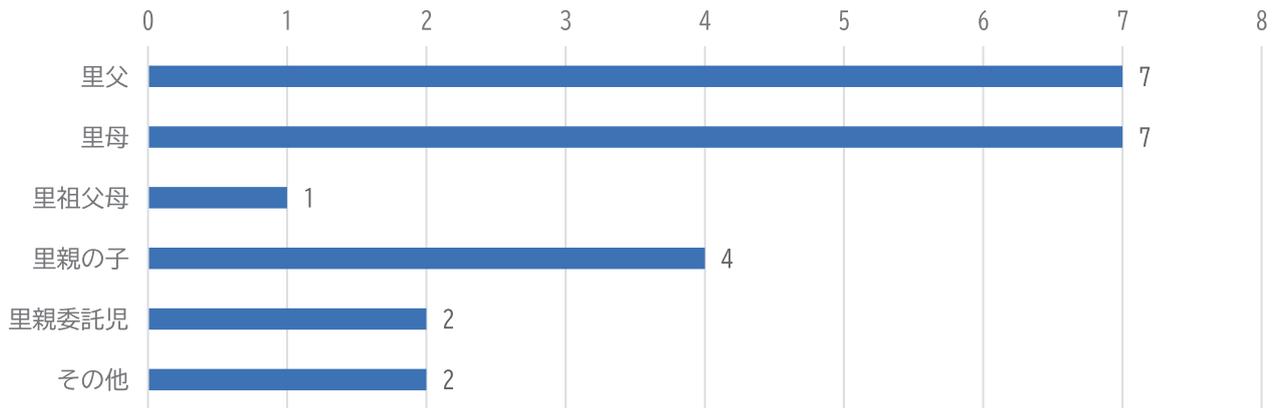
けんかす①か/だれかいたほうがいい②/2人の時間をすごしたいから②

部屋が広くなるから①/レゴひとり占めできる、見たいものが見れる①

プライベートが欲しい①/1人が1番楽だから①/荷物が多いから①

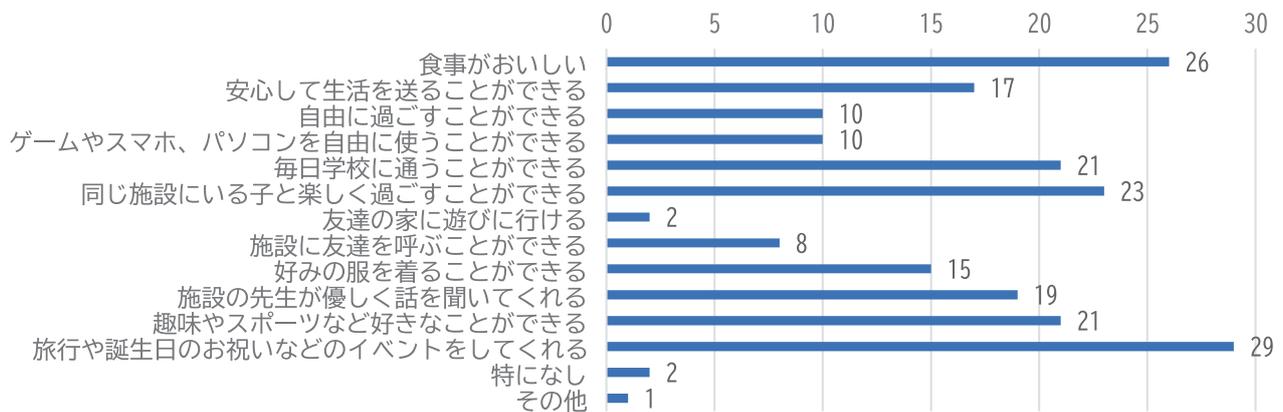
夜がこわいから③/1人じゃ、さみしいから。②

②-③ 一緒に暮らしている人を教えてください（里親措置児童）〔回答数：7〕 ※複数回答可能



〔その他〕 犬

②-④-施設 今の生活での満足していること〔回答数：34〕 ※複数回答可能



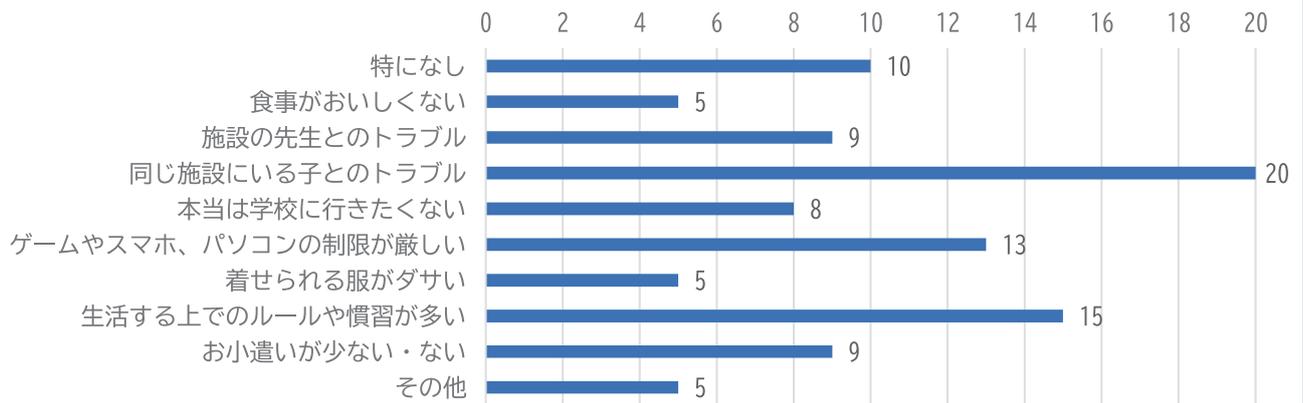
〔その他〕 本がたのしい

②-④-里親 今の生活での満足していること〔回答数：7〕 ※複数回答可能



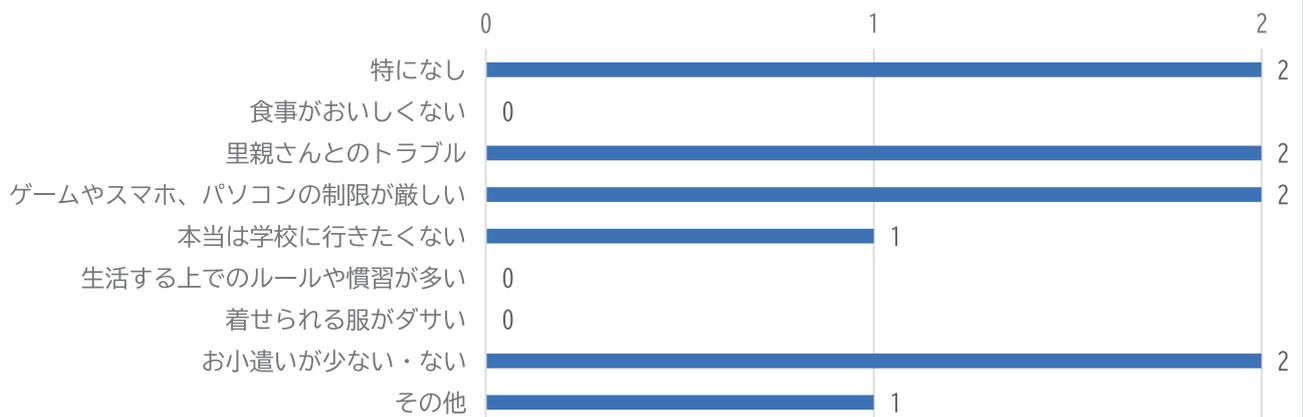
〔その他〕 よくねれる

②-(5)-施設 今の生活への不満〔回答数：34〕※複数回答可能



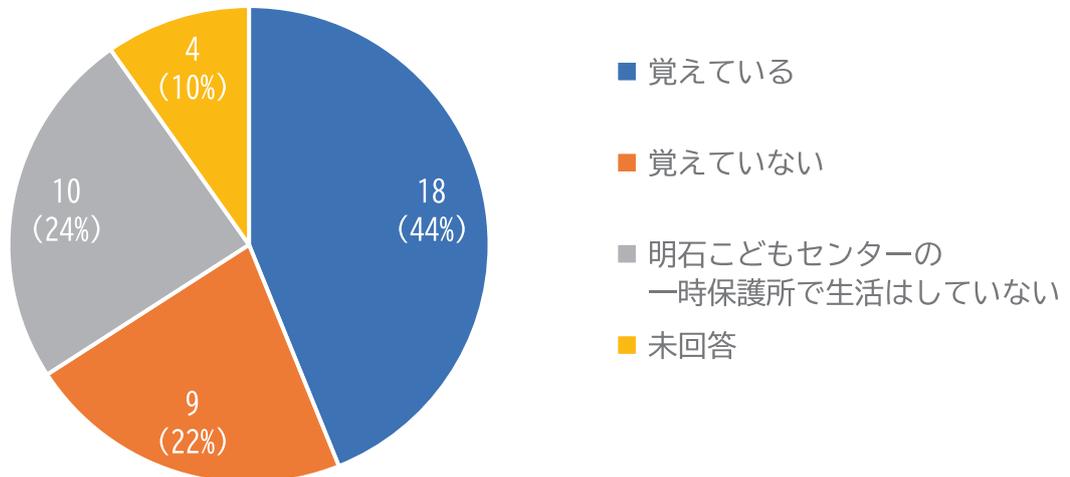
〔その他〕うるさい／みんなとの常しきがちがう／ルールが厳しい、スマホもてない
ほとんど年下の子が優先される／泊まりにいけない

②-(5)-里親 今の生活への不満〔回答数：7〕※複数回答可能

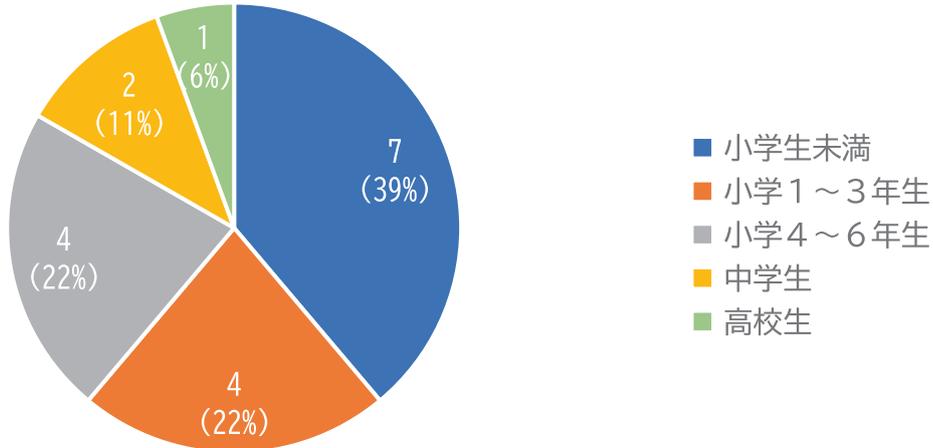


〔その他〕家がヒマで困る

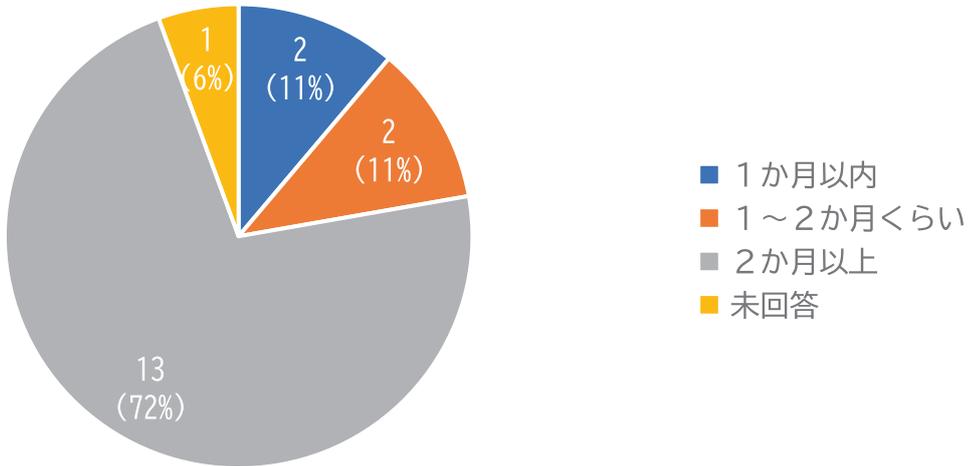
③-(1) 明石子どもセンターの一時保護所で生活していたことを覚えていますか？〔回答数：41〕



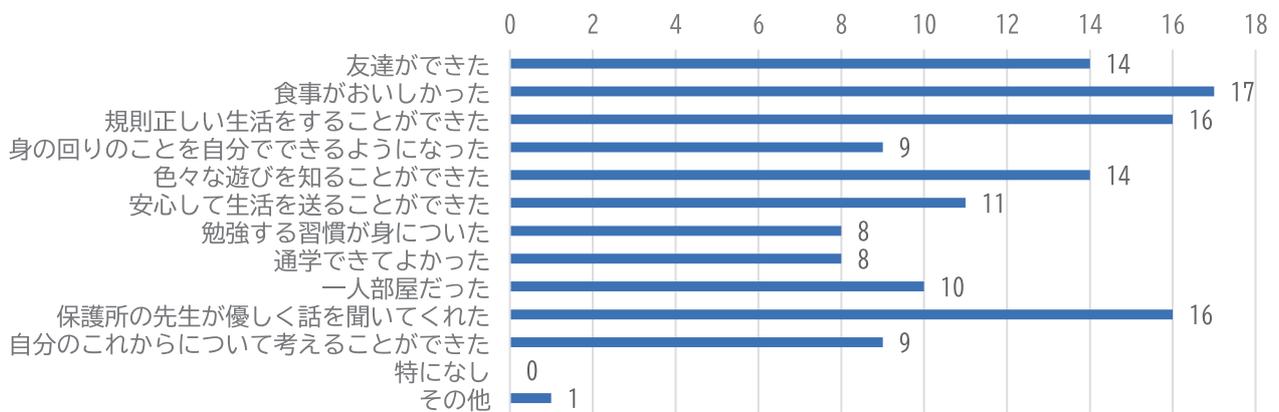
③-② 一時保護所で生活していたのは、何歳の頃ですか？〔回答数：18〕



③-③ どれくらいの期間、一時保護所で生活をしていましたか？〔回答数：18〕

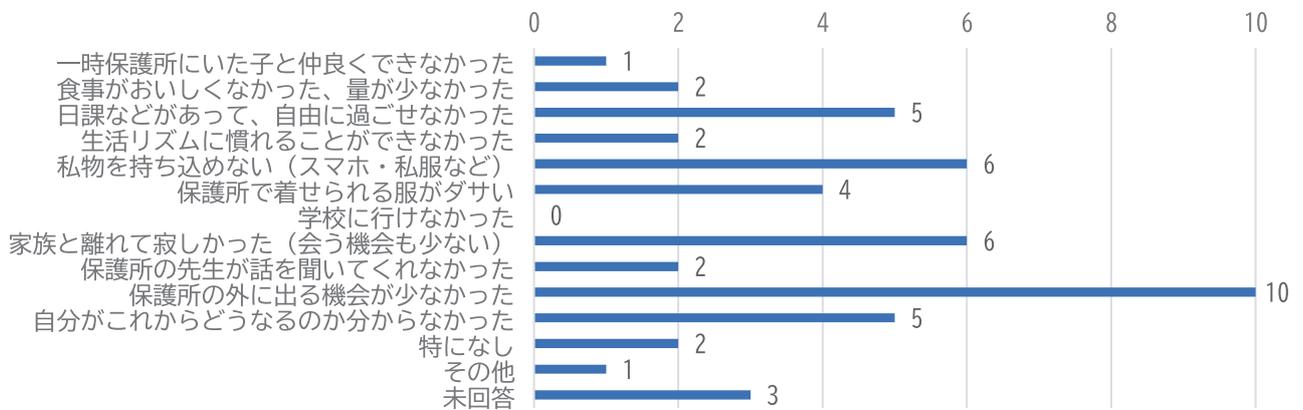


③-④ 一時保護所の生活で満足していたこと、うれしかったこと〔回答数：18〕※複数回答可能



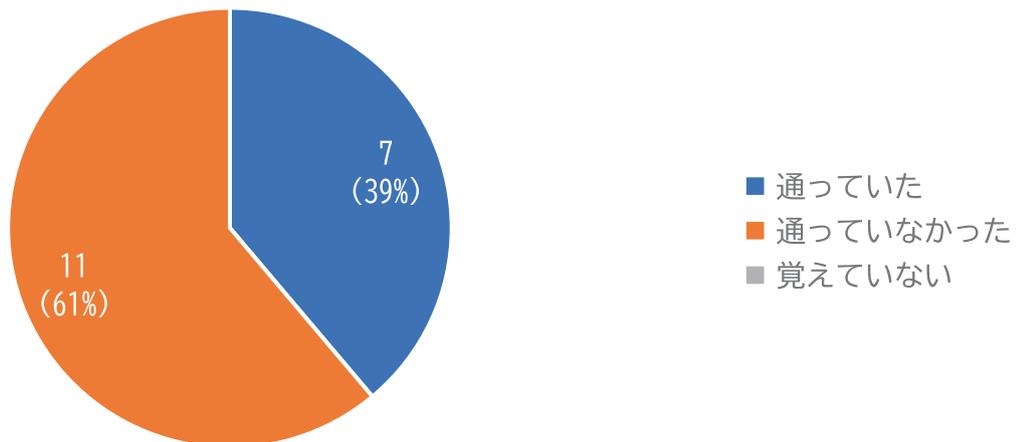
〔その他〕 保護所の空間が暖かった

③-⑤ 一時保護所の生活で不満だったこと〔回答数：18〕※複数回答可能

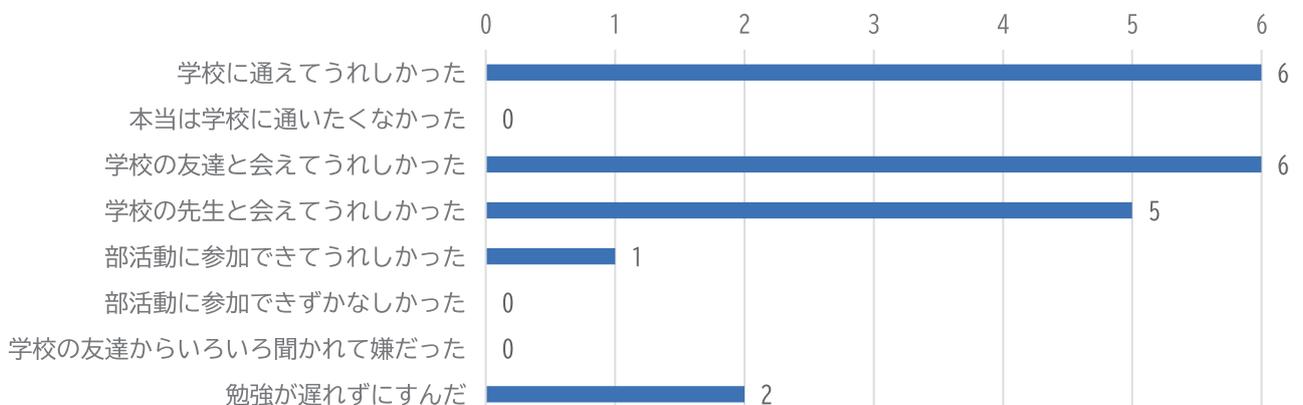


〔その他〕今の生活の方が良いけど戻りたくなる

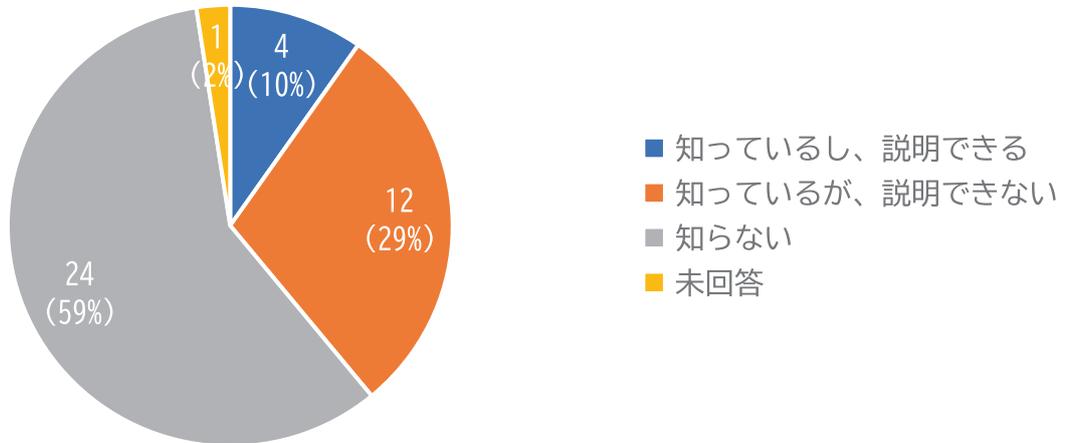
③-⑥ 一時保護所から学校に通っていましたか？〔回答数：18〕



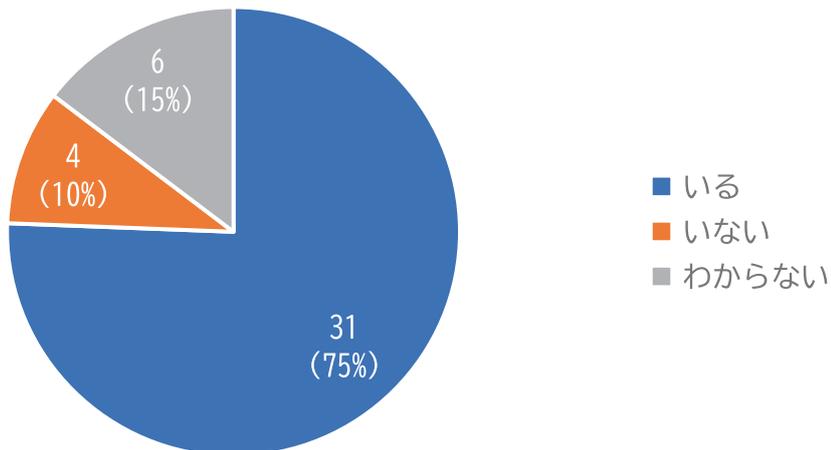
③-⑦ 学校に通っていたことについてどう思いましたか？〔回答数：7〕※複数回答可能



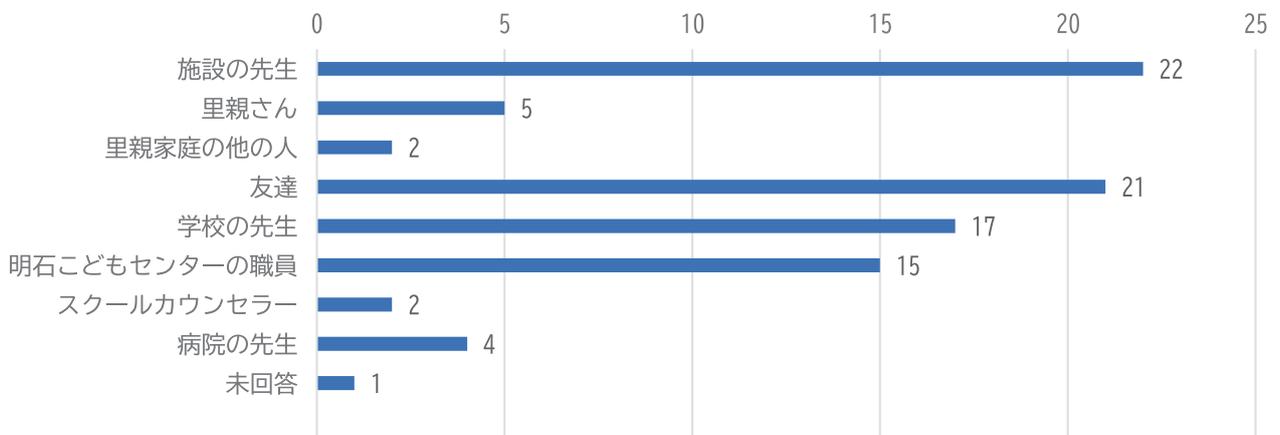
④-① 「こどもの権利擁護」という言葉を知っていますか？〔回答数：41〕



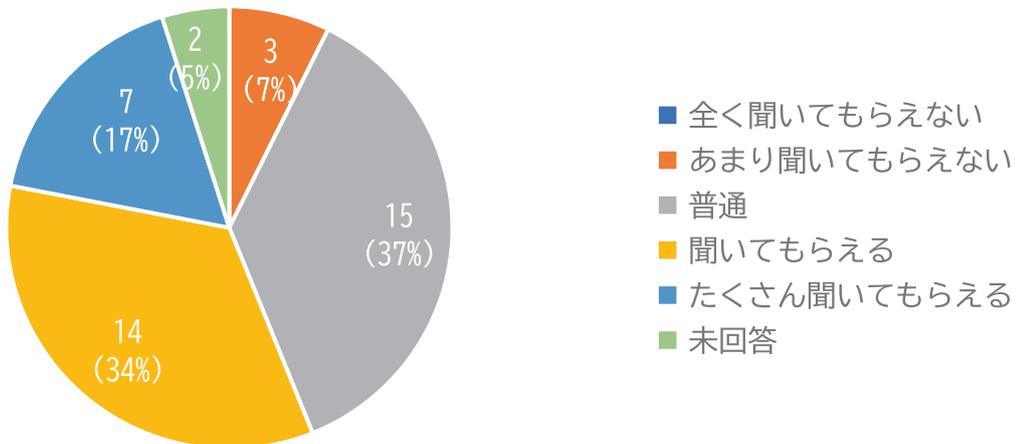
④-② 日頃、あなたの気持ちや意見を聞いてくれる人はいますか？〔回答数：41〕



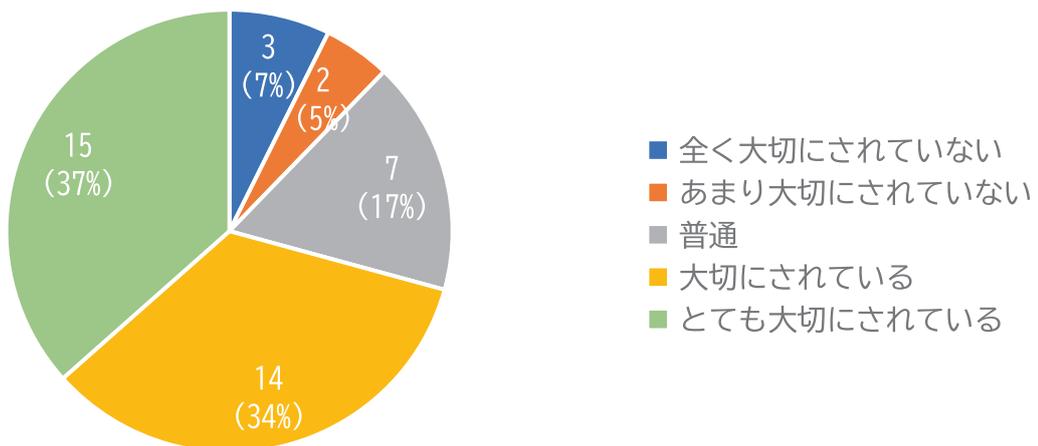
④-③ その人は、誰ですか？〔回答数：31〕※複数回答可能



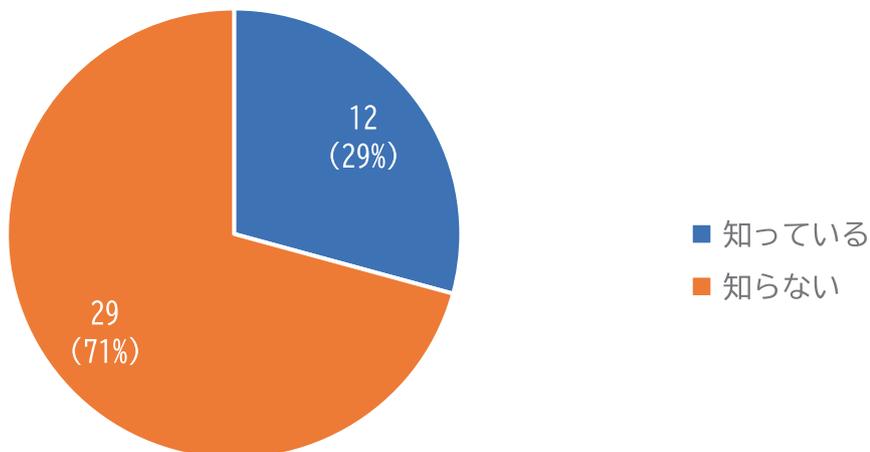
④-④ 日頃、どのくらい気持ちや意見を聞いてもらえていると感じますか？〔回答数：41〕



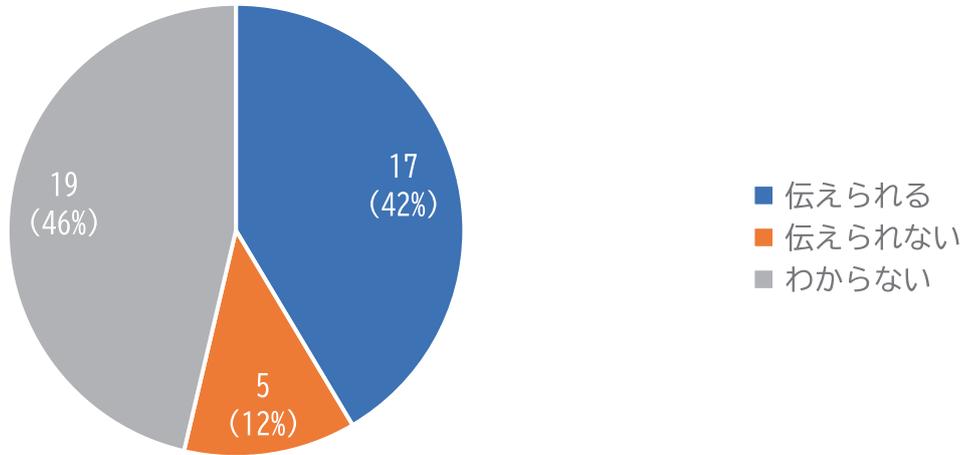
④-⑤ 日頃、あなたの気持ちはどのくらい大切にされていると感じますか？〔回答数：41〕



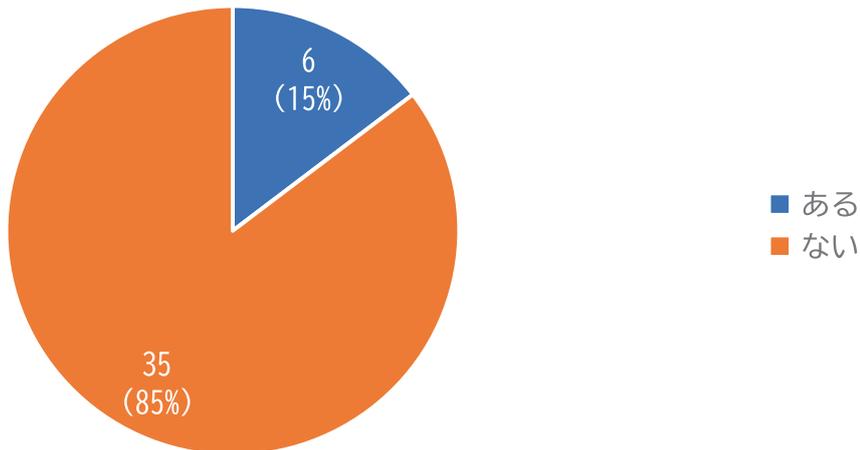
④-⑥ 意見表明支援員のことを知っていますか？〔回答数：41〕



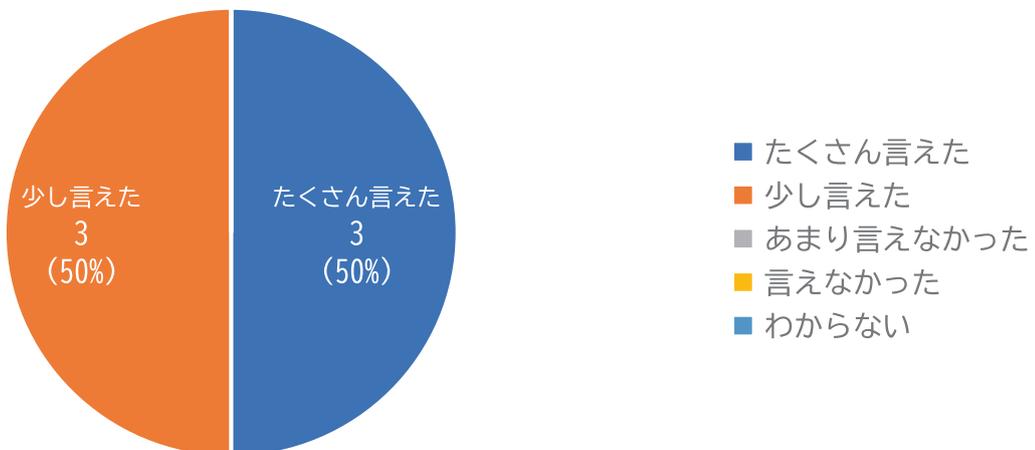
④-⑦ 意見表明支援員と話したいとき、周りの人に伝えることはできますか？〔回答数：41〕



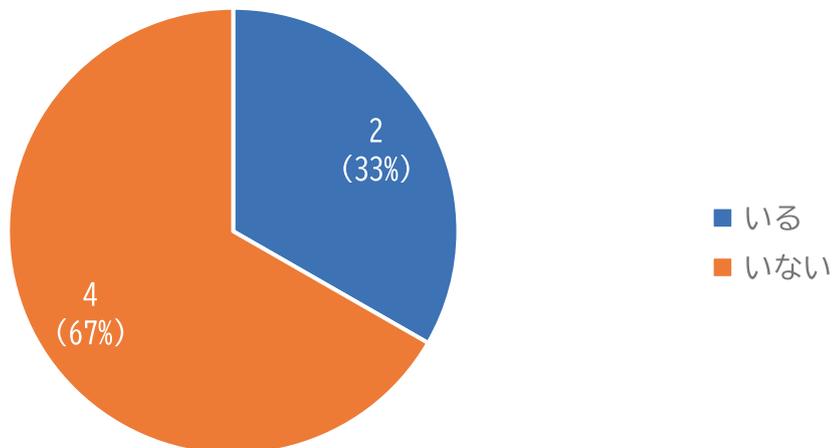
④-⑧ 意見表明支援員にあなたの気持ちを聞いてもらったことがありますか？〔回答数：41〕



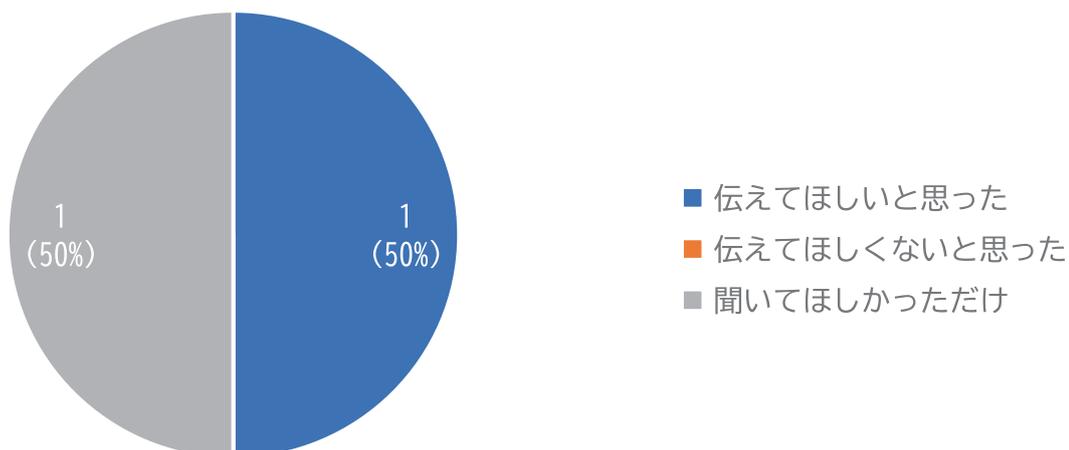
④-⑨ 意見表明支援員にはあなたの気持ちや意見を言えましたか？〔回答数：6〕



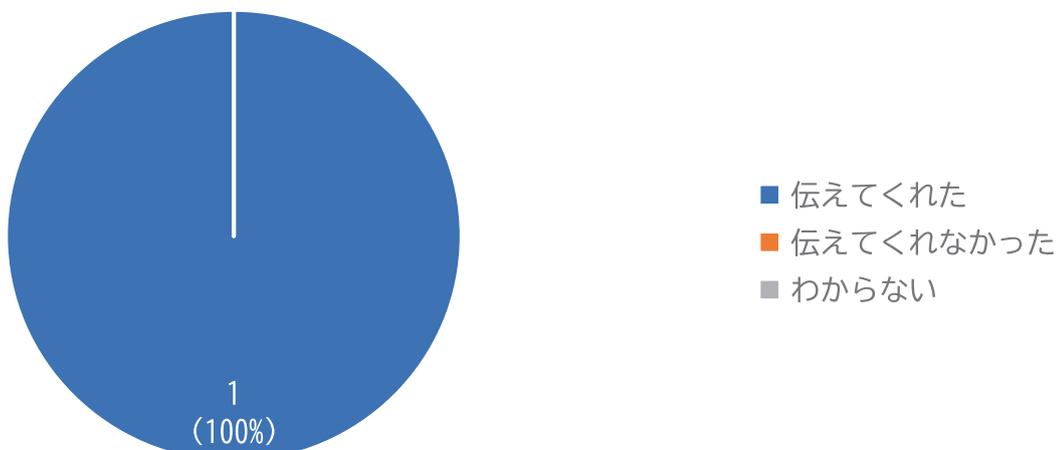
④－(10) あなたの気持ちを伝えたい相手はいますか？〔回答数：6〕



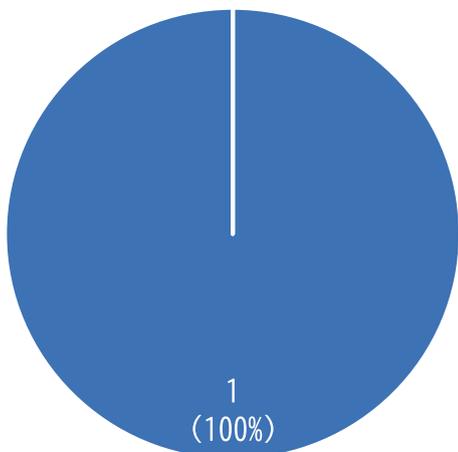
④－(11) その人に、あなたの気持ちを意見表明支援員から伝えてほしいと思いましたが？〔回答数：2〕



④－(12) 意見表明支援員は、その人にあなたの気持ちや意見を伝えてくれましたか？〔回答数：1〕



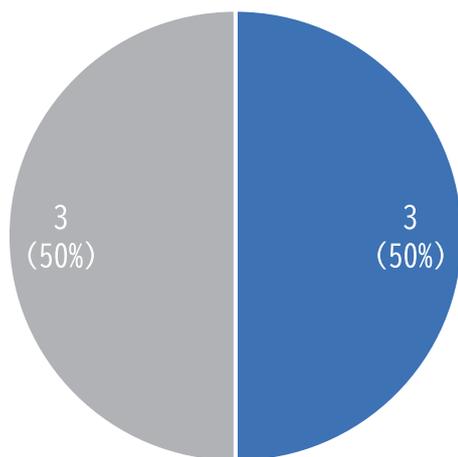
④－(13) あなたの気持ちや意見を受けて、その人がどう対応するか聞きましたか？〔回答数：1〕



- 聞いた
- 聞いていない
- わからない

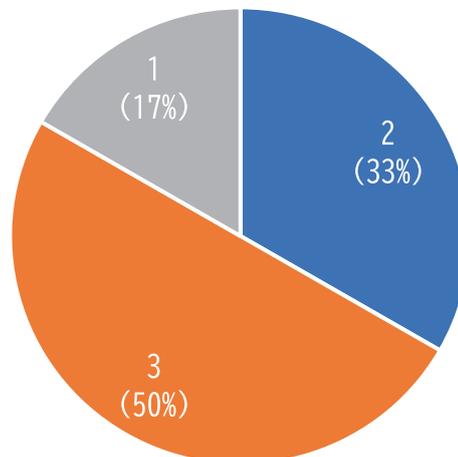
④－(14) 意見表明支援員に伝えたあなたの気持ちや意見は大切にされていると感じますか？

〔回答数：6〕



- 大切にされていると感じる
- 大切にされていないと感じる
- わからない

④－(15) 意見表明支援員に気持ちや意見を言えてよかったですか？〔回答数：6〕



- とてもよかった
- よかった
- そうでもなかった
- よくなかった

⑤ アンケートで聞いたこと以外も含めて、今の生活や明石こどもセンターに対して、あなたが
思っていることや伝えたいことがあれば、自由に書いてください。

- ・ さとおやさんとけんかがいや
- ・ もう一度保護所のさつまいもご飯が食べたい
- ・ メールなどをできるなら電話じゃなくてもすぐに話せるようにしてもらいたいです。
- ・ ご飯がおいしい、楽しい、どこかにつれていってくれる、おちつく、おもちゃがいっぱい、本がたくさん、部屋が広い、部屋にソファがある（洋室だけ!）、わしつにいすかなにかおいてほしい、外出が少ない
- ・ ナシ（梨の絵）
- ・ 一時べつの所に行きたい！と思ったことは、あるけど、そつぎょうアルバムがほしい。（笑）
- ・ ないです。
- ・ 特に無い
- ・ わかりません??
- ・ とくにない
- ・ 同じような事情で来た子と話したい。施設職員じゃなく、同じ場所で暮らしている子達と話したい。先生だと、うなずくだけで、気持ちが分かる訳じゃないから。
- ・ メシマズイ
- ・ 明石こどもセンターに戻りたい（理由：おもちゃがあるから、ハロウィンでおかしもらったから）

※以下、設問⑥については高校生年齢以上のみの回答

⑥-① 進路の目標について教えてください。〔回答数：8〕



⑥-② 将来の目標はありますか？

自立する／電気工事士になりたい／スポーツ関係の仕事に就く事
自分の店をもつ／車欲しい／パティシエ／製菓会社で働くこと

⑥-③ それに向けて、今頑張っていることがあれば、教えてください。

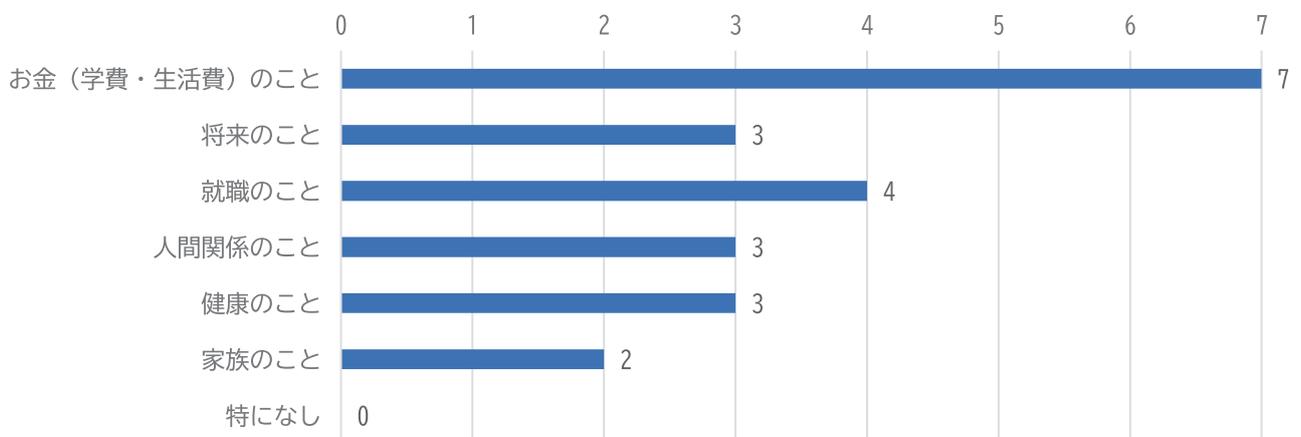
単位を落とさないようにする／資格取得に向けて頑張っている。
資格取得／資格取得、得技のスポーツを競めている。／うでをみがいている
免許取得／学校でパティシエコースに入ることを目標にしている

⑥-④ 目標の実現に向けて、必要なことはなんですか？

お金を貯める／メンタルの調整、勉強、周りの人からの支え／勉強
手を抜かず、実現に向けて取り組むこと。／時間とお金／金
バイトやケーキを作る練習をする

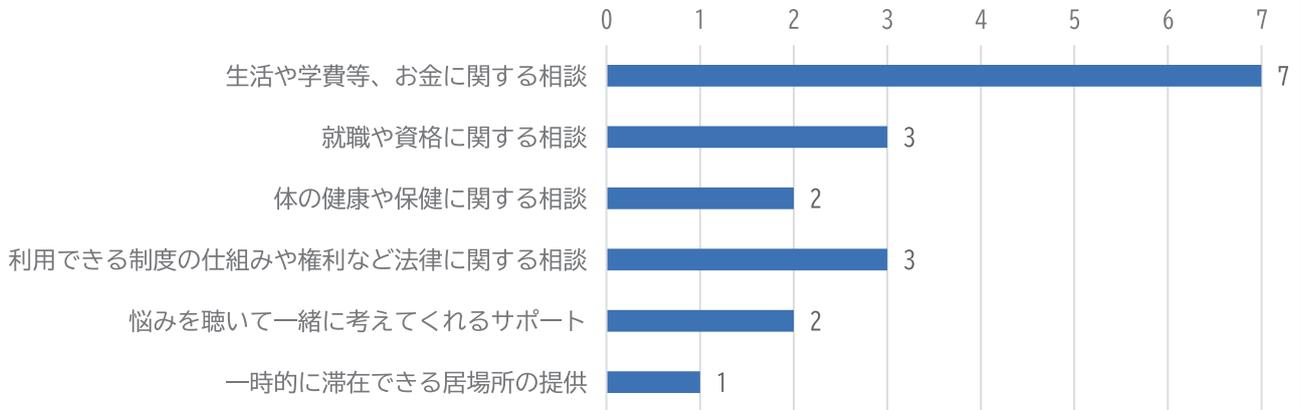
⑥-⑤ 今の生活から新しい生活に向けて、不安や心配なことはありますか？

〔回答数：8〕 ※複数回答可能



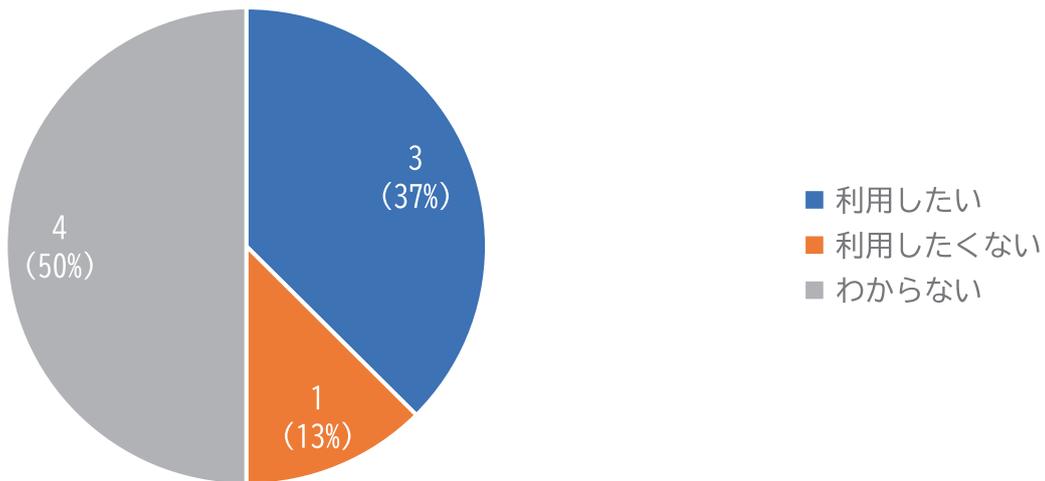
⑥-⑥ その不安や心配を解消するためには、どんなサポートがあればよいと思いますか？

〔回答数：8〕 ※複数回答可能



⑥-⑦ あなたと同じような状況にある子たちが集まれる空間があれば、利用したいと思いますか？

〔回答数：8〕



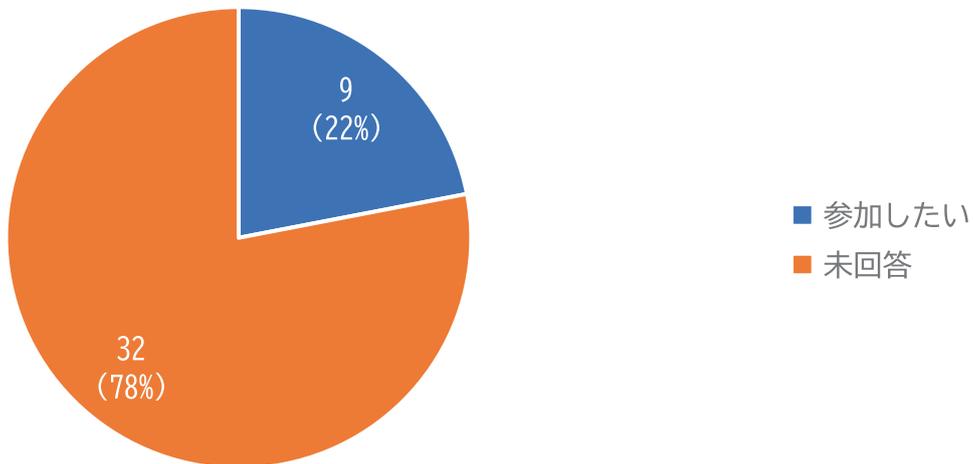
⑥-⑧ その理由を教えてください。

- ・子供には普通に楽しく遊べる空間が必要だと思うから。私はその空間を作るお手伝いがしたいです。
- ・今までどんな感じで過ごしてきたのかを少しでも共感したい。
- ・どんな風に生活しているのか、しようと思っているのか、参考になる事は参考にしたいし、自身の事で参考になる事があれば、参考にしてほしい。
- ・特になし
- ・その時によって考えが変わると思うから
- ・どんな感じが分からないから

⑥-⑨ その場所では、どのようなことができればよいと思いますか。

- ・ 娯楽イベント、勉強会
- ・ 今までどんな感じで過ごしてきたのかを少しでも共感したい。
- ・ イベント等で関わってみたい。
- ・ 相談対応、イベントの企画 等

これからも、アンケートや直接皆さんにお会いして、意見を聴かせてもらう機会を作ろうと思っています。もし機会があったら参加したいと思いますか？〔回答数：41〕





明石市社会的養育推進計画

2025年(令和7年)3月

発行：明石市
〒674-0068
明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7
TEL 078-918-5097

編集：明石市こども局明石こどもセンター